



講座のご案内

2020年3月号 電話 ファックス 048-866-9466

講座へは、このチラシを見た方どなたでも参加ができます。

人生100年時代 住み慣れた家で、最後まで生活するために今できること ～ 健康に暮らせる住まいを整える 4回連続講座～

長寿社会を迎えているなかで、国は「施設」から「在宅」へのシフトを掲げています。健康に、楽しく、快適に、そしてサステナブルに生活を続けるために、私たちはどんなことが必要なのか。自分らしい人生100年時代の暮らし方を考えませんか。今回は4回の連続講座で、専門家に任せる必要のある住まいの改修だけでなく、身近で自分にできることも含めて、メンテナンスや寒さ・暑さの改善、木と健康などをテーマに実施します。



第1回：4月15日（水） 自分でできる住まいの自主点検のすすめ

講師：住宅コーディネーター NPO 木の家だいすきの会 鈴木進

第2回：6月11日（木） 老いに備える住まいの改善 ～事例紹介と住まいの改善経験談～

講師：住宅コーディネーター NPO 木の家だいすきの会 山本幸恵

第3回：9月10日（木） 人もペットも健康にする木材の力

講師：加藤木材 加藤政実

時間はいずれも13時30分～15時30分

第4回：11月17日（火） 住まいを丈夫で長持ちさせるためのメンテナンスの方法と費用

講師：一級建築士 一般社団法人住宅医協会理事 滝口泰弘

参加費 各回1,000円 ただし、4回すべてに参加ご希望の方は3,000円（初回時のお支払）

※大人の学校正会員は各回500円割引します

会場 生活クラブ生協会議室 さいたま市南区别所5-1-11（埼京線「中浦和」徒歩3分）

この講座は、大人の学校とNPO木の家だいすきの会の共催です。

キッチン・キャップづくり

3月9日（月）10時30分～12時30分

お料理をする時や野外でも便利なキッチン・キャップを手作りする講座です。ふんわりと形ができていて、着脱が簡単です。作るのに時間がかからないので、一度作り方を覚えればいろいろな布地で楽しめますよ。今回は型紙と布地のキットを用意していますのでどなたでもお気軽にご参加ください。【定員15名】

■場所：生活クラブ生協本部 ※駐車場なし
(JR 埼京線「中浦和」駅下車 徒歩3分)

■講師：ワーカーズ・コレクティブ紬のメンバー

■参加費：2,500円 ※材料キット代含む

■持ち物：針・糸・待ち針・はさみなど裁縫道具



ハンセン病資料館の見学と春の全生園を散策

3月25日（火）①か②のどちらかに集合してください

【集合場所】

① 9時30分 JR武蔵野線「新秋津」駅 改札出たところ
※資料館まで徒歩約20分

② 9時50分 ハンセン病資料館前

国立ハンセン病資料館は、東村山市の全生園（ハンセン病患者の隔離施設だった）の一角にあり、ハンセン病や長く隔離されてきた患者さんたちの歴史を伝える貴重な場所となっています。ガイダンスと語り部の方のビデオ鑑賞後、全生園を散策します。お昼は園内の食堂の看板メニュー「釜飯」、その後資料館を見学し解散です【定員15名】

■参加費：2,800円 ※昼食代、保険料を含む

■持ち物：飲み物、帽子 歩きやすい服装でご参加ください。

お江戸オノボリさんぽ 早春の深川・水辺を歩く

3月30日（月）午前9時50分集合

地下鉄東西線「門前仲町」駅 3番出口地上

深川は、江戸東京の消費を支える物流の拠点でした。なかでも佐賀町は全国の米が集まった拠点で、現在もその名残で倉庫業を営む会社が多く存在します。今回は、隅田川の穏やかな流れを眺めながら、レトロな佐賀町周辺を歩きます。昼食後に解散です。【定員15名】

■案内人：江東区文化観光ガイド

■参加費：4,200円 ※昼食代、保険料をふくむ





「百歳でも笑って過ごせるまちづくり」

2020 生活クラブ運動グループ研修に参加しました！

大人の学校は、生活クラブ生協の運動グループのなかのひとつの団体です。運動グループは、それぞれの特性を生かし、知恵と力を集めながら市民一人ひとりが活き活きと暮らし続けられる地域づくりを目指しています。今回の研修は、愛媛県で循環型の産業振興や福祉事業を実践している無茶々園の天津清次さんのお話を伺いました。

無茶々園の名前の由来を初めて知った(笑)。「来るもの拒まず去る者追わず」の地域づくりで、社員の8割はよそ者と海外実習生との話になるほどなあと。だからこそ無茶苦茶な発想を掲げながら少しずつ形にしてこられたのだなと合点がいった。Y

「地域の中で、地域と一緒に、でも自立しながら農業事業を行なっている」「自給しながら外と繋がる」現在進行形の実践のお話は、本当にわくわくしました。「働くデザイナーズ」は、色々な課題があってもまだ道の途中ということですが、面白くて楽しい考え方だと思っただけ「コミュニティ産直」という言葉も地域同士の提携であるというお話で、イメージがぐっと身近になりました。S

45年前の無農産の実験園設立を皮切りに、時代を先読みして粘り強く地域とつながり、農業、漁業だけでなく福祉、エネルギーまでも生み出してきた地域づくりの話に圧倒されました。生活クラブに対しては、生産者に甘い。生産者を甘やかしてはいけない、と。自立した百姓、自立した地域づくりを！というスローガンを掲げ覚悟を持って生産者自身が取り組んできたからこそ発せられた言葉として受け止めました。K

みかん作りから出発し、地域全体を目指す規模多機能自治の歩みと、10年後20年度を見据えた確かな展望の熱い話に大いに感じ入った。心に残った言葉は「大地とともに心を耕せ」。有吉佐和子の『複合汚染』により心のスイッチが入ったとのこと、種を蒔いておかないと間に合わないなと思った。福

どこを切りとっても大変刺激的なお話でした。組織が大きくなりすぎると依存型組織に普通なもの売りのだけの組織になってしまうという指摘は、ただ消費者として生協から物を買っているだけの私の姿を逆の方向から指摘されたように胸に刺さりました。今の時代の中で活動を活性化させるヒントがたくさんあり、どう生かすか私たちが問われているように思いました。A

被災地を忘れない！

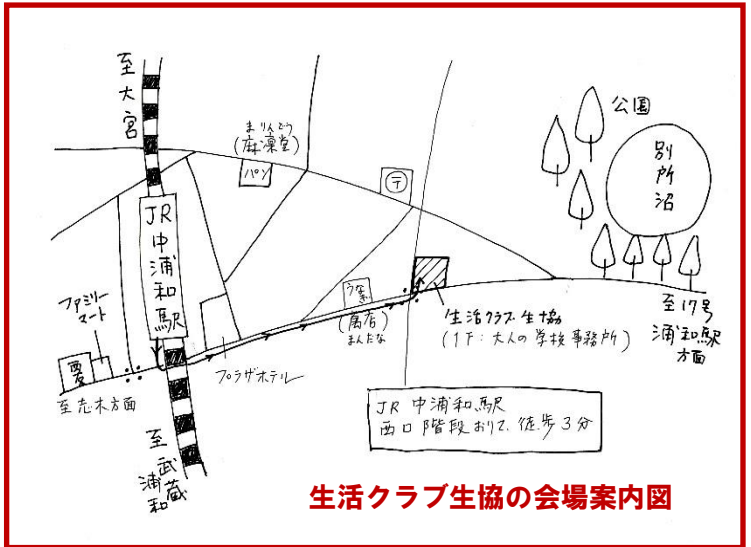
1冊の本がつなぐ応援の輪

大人の学校は、被災地を応援しています。岩手県陸前高田市立図書館の本を充実させるための寄付を継続して行っています。被災地を忘れず、つながり続けるための取り組みとして継続しています。(2019年12月末現在の寄付額約26万円)

賛同いただける方は、生活クラブ本部1階 談話室内の大人の学校事務所で本をお持ち下さい。



取扱いけないもの ISBNのない本、百科事典、個人出版本、マンガ、一般雑誌など。古いものや汚れているものもNGです。



生活クラブ生協の会場案内図

◆大人の学校スタッフのつぶやき◆

5年ほど前から地域のボランティアの日本語教室で、外国の方の日本語学習のサポートをしています。今一緒に勉強している Sさんは、半年ほど前に中央アジアの国からご主人とともに元気な3歳の男の子とともに日本に来て、さいたま市で暮らしています。他の日本語教室にも通い熱心に勉強しているので、半年の間に簡単な会話はできるようになりました。

週に数日、都内の病院で夜の10時まで働いていることは知っていましたが、帰宅したあと深夜12時から朝までお弁当工場で働く日もあると先日話してくれました。工場で働いているのは外国の人ばかりで、英語でおしゃべりしながらなので楽しいとも。3歳の男の子を育てながら働くことは日本人でも大変なのに、辛い顔も見せず明るく話す彼女に「保育園のお迎えの時間まで、少しでも寝てくださいね」と言うことしかできませんでした。少しでも力になれることを見つけていきたいと思っています。(A)

お問い合わせ先

NPO 法人 大人の学校

336-0021 さいたま市南区别所 5-1-11

電話/ファックス 048-866-9466

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の10時～16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

<http://www.otonanogakkou.org/>